



VIII. 記録史料

Archives

Material and Specimens deposited in Kyushu University

Ⅷ-1. 鉱山史料

標本点数：約300点
 管理部局：工学研究院
 収蔵場所：箱崎キャンパス

標本内訳：江戸時代の鉱山・精錬に関する史料

標本紹介：工学研究院の旧採鉱学科と材料工学科、現地球資源システム工学部門と材料工学部門、が所蔵する江戸時代の鉱山・精錬に関する史料である。尾去沢銅山における責任者のひとりであった南部藩山師（南部御銅山廻銅支配人）の内田家に伝えられた記録をはじめ、佐渡金山の絵図や銅の製錬などに関する絵図などが含まれる。例えば、『吹屋之図』は、銅の採鉱・選鉱・製錬を詳細に説明描写した木版の彩色本で、希少本となっている。この他にも「尾去沢鉱山作業図」、「秋田加護山鉱山及鉱業図」、「佐渡鉱山金銀採製全図」、「金銀山敷岡稼方図」などがあり、東北地域や佐渡金山における鉱山作業を図で示す貴重な史料となっている。



丹波国燧石切出之図：3代広重が各地の産業を描き、明治10年に出版された「大日本物産図会」の中の1枚



唐津石炭採掘之図：数少ない江戸時代の石炭採掘に関する絵巻物、天明4年（1784）唐津藩の木崎悠々軒の筆とされる



同上（部分拡大）

Ⅷ-2. 石炭研究資料センター所蔵資料

標本点数：約69,000点
 管理部局：石炭研究資料センター
 収蔵場所：箱崎キャンパス

標本内訳：石炭産業にかかわる文書資料、写真などの視聴覚資料、用具などの造形資料

標本紹介：麻生家文書をはじめとする企業経営資料、三池労組・高島労組・炭労九州本部資料などの労働組合関係資料、行政資料などの文書資料のほか、坑内施設や炭鉱の人々の生活などを撮影した写真・ビデオテープ資料、造形資料（用具・標本）等を多数収蔵しており、学術的にも貴重な資料となっている。



VIII-3. 九州文化史研究所所蔵文書

標本点数：約400,000点
管理部門：九州文化史研究所
収蔵場所：箱崎キャンパス

標本内訳：江戸時代における地域史料

標本紹介：織田信長や豊臣秀吉の朱印状をはじめ、福岡藩家老の「三奈木黒田家文書」、「吉田家文書」、「秋月黒田家文書」（秋月藩）や「宇土細川家文書」（熊本藩支藩）などの大名史料や、岡山県以西の各地の庄屋史料、日田の「千原家文書」、天草の「石本家文書」などの商人史料なども多く収蔵しており、西日本では質・量ともに学術的にすぐれた江戸時代における地域史料となっている。九州の地理的關係から、中国・朝鮮半島・琉球（沖縄）地域との交流をしめす史料も多く含まれ、まとまった記録としては貿易港長崎に関する「松本文庫」、「古賀文庫」、「元山文庫」などがあり、この中には古地図も見られる。



福岡城下町・博多・近隣古地図：三奈木黒田家文書の中の一紙で、文化9年（1812）写、縦223.2cm、横266.5cm

VIII-4. 法制史料

標本点数：4,586点
管理部門：法学研究院
収蔵場所：箱崎キャンパス

標本内訳：江戸時代以来の法制史に関する記録史料

標本紹介：『撰要類集』、『武家法度』、『武家厳制録』などの幕府法令や大名法令、福岡藩に関する法令、大坂町奉行所の記録、明治憲法に関する資料など豊富な法制史料を収蔵している。また、北部九州地域の庄屋文書なども含まれている。明治期分では『日本帝国憲法問答』のほか、外国憲法についての『泰西国法論』、『英国議事院談』等があり、明治以降に成立した憲法や法律の源流を探ることのできる貴重な史料群となっており、高い学術的価値を持っている。

VIII-5. 大学資料

標本点数：約40,000点
管理部門：大学史料室
収蔵場所：箱崎キャンパス

標本内訳：九州大学が機関として生産した大学事務文書、大学に関連した写真、スクラップなど

標本紹介：九州大学各部門・事務部等からの受領事務文書／退職教職員、卒業生（同窓会）等からの移管・受贈文書／学内印刷物、他大学・文部科学省等の印刷物、学生団体等の印刷物／新聞・雑誌等の大学関係記事スクラップ／人物・建物・構内風景等の写真（ネガ・スライド）、ビデオテープ／校旗・印章・プレート・講義ノート・寄書き等の記念物品など、九州大学に関連した多量の資料を収蔵している。また、写真・映像資料は、現在も、移転するキャンパス—箱崎、六本松—を中心に撮影活動を行っている。

VIII-6. 九大病院カルテ

標本点数：約30,000点
管理部門：九州大学病院
収蔵場所：病院地区キャンパス

標本内訳：九大病院の前身である明治時代の県立福岡病院時代から今日までのカルテ

標本紹介：カルテには、病名・治療方法などが記され、医学史の研究にとって豊富な情報を含む。他の旧帝国大学医学部、病院などには創立期以来のカルテは残されておらず、貴重な資料となっているが、個人情報を含むため、慎重な取り扱いがなされている。